

下呂市第二次総合計画を 策定しました

下呂市では、まちづくりに取り組む上で、もっとも重要で基本的な指針となる下呂市第二次総合計画を策定しました。合併後からの第一次総合計画を継承する本計画は、平成27年度から平成36年度までの10年間の計画です。

住民の参画と協働による『ふるさと磨き』を基本理念に、
「もっと住みたい 訪れたい みんなのふるさと わくわく下呂市」
を市の将来像に掲げ、みなさんとまちづくりに取り組んでいきます。

計画の特徴は？

① 市政運営の「拠りどころ」となる計画です。

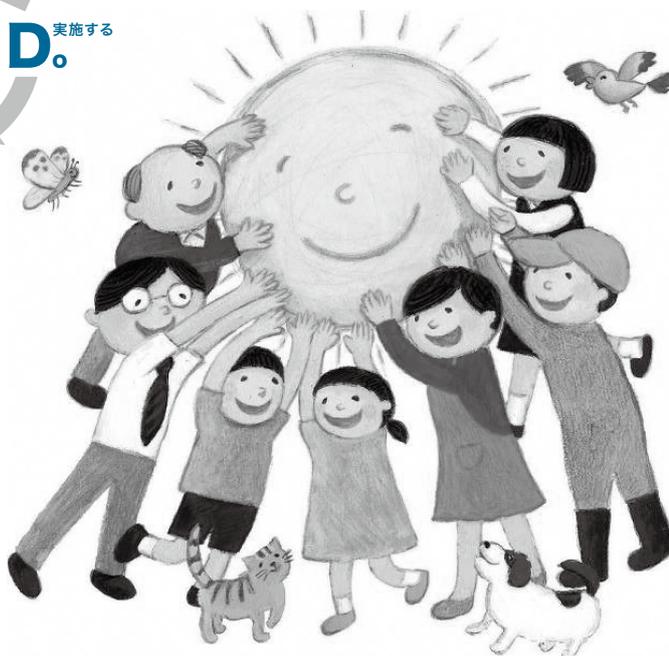
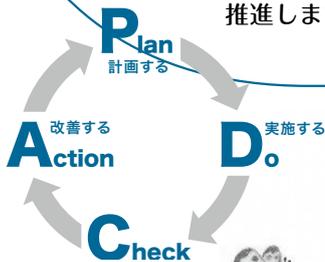
この計画は、下呂市が行う全ての政策・施策・事業の根拠となる最上位の行政計画にあたります。

② みんなで考え、みんなで行動するための計画です。

この計画は、下呂市の抱える課題の解決や、市の魅力を高め価値を生み出す活動に、市民・議会・行政が手を取り、ともに汗を流していくための共通の指針です。

③ 目指す姿を掲げ、達成度を評価できる計画です。

この計画は、目標の達成度や効果を「見える化」して、市民とともに点検するため、「計画→実施→評価→改善」のPDCAサイクルに基づいて推進します。



市の将来像

**「もっと住みたい 訪れたい
みんなのふるさと
わくわく下呂市」**

わたしたちの下呂市は
森と清流、温泉をはじめ豊かな自然
先人たちが築いてきた文化や暮らし
人と人との温かいつながりなど
宝物がいっぱい

合併から10年という節目を迎えた今
あらためて、わがまちを見つめ直し
その個性や魅力を磨きあげ
「結んでひとつ」の下呂市に

「地域のことは地域で、
自分たちのことは自分たちで」
を合言葉に
わたしたち市民一人ひとりが
ふるさとのためにできることを考え、
行動していくことで

もっと住み続けたい、訪れたい
わくわくするような
「みんなのふるさと」へ

まちづくりの基本原則

① **みんなが、同じ情報を共有することを原則とします。**
まちづくりは、情報をみんなで共有することからスタート。議会、行政からのわかりやすい情報発信と同時に、市民同士の情報交換も大切です。

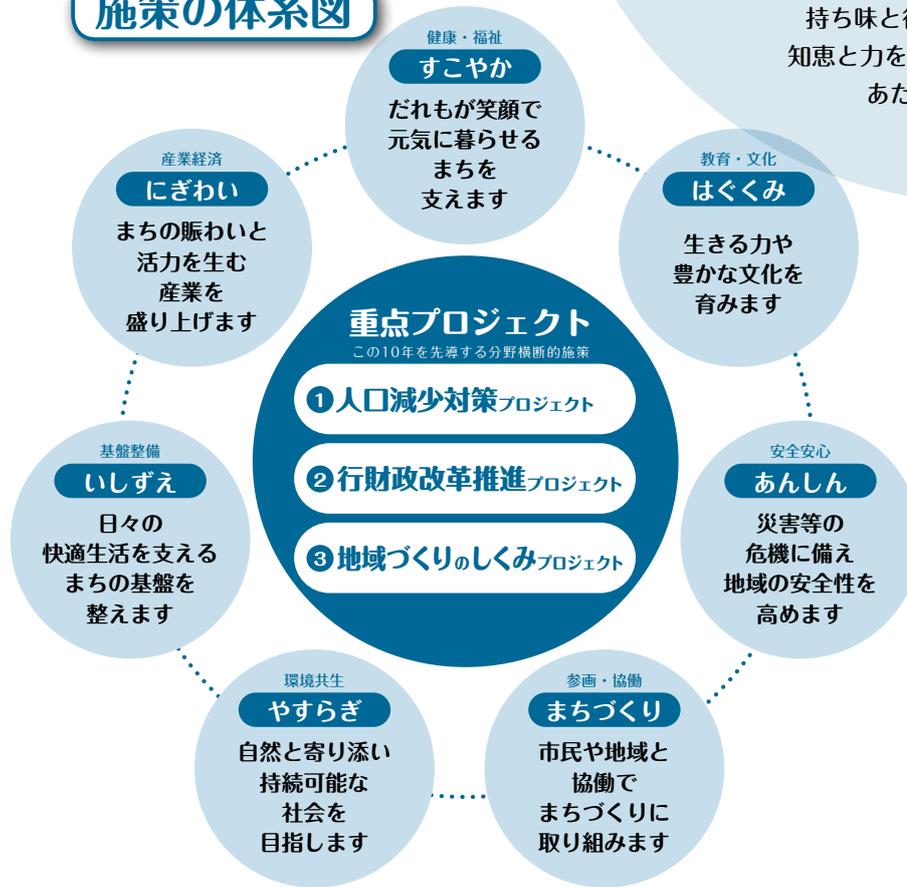
② **市民が、まちづくりに参画することを原則とします。**
まちづくりの主役は市民。身近な地域活動やボランティアへの参加から市政の各段階への参画まで積極的に関わることが大切です。

③ **市民・議会・行政が協働でまちづくりに取り組むことを原則とします。**

市民・議会・行政・民間企業・自治会・NPOなど下呂市に関わるさまざまな主体が、持ち味と得意分野を活かしながら、知恵と力を結集して公共課題の解決にあたるのが大切です。



施策の体系図



下呂市総合計画審議会

本計画の策定にあたって、市民団体の代表者15名で組織された「下呂市総合計画審議会」にご意見をいただきました。また、計画の実行に対し、引き続き進捗管理を行っていただきます。



下呂市総合計画審議会会長の
かとうよういち
加藤陽一さんにお聞きしました



金山地域審議会代表として総合計画審議会に委嘱され、会長に選任された加藤さん。

総合計画というと難しいといったイメージがあるので、分かりやすく、親しみやすいものにしたいと思われたそうです。

審議会では、下呂市が直面している重要な課題について、下呂市がどうやって取り組んでいくのかを、明確に計画化するように要望し、重点プロジェクトが出来たそうです。これを実行していくには、市民・民間・行政等が一致団結して取り組むことが必要で、そのために、まずは市民のみなさんへ周知し、達成度や効果を一年一年検証し、情勢の変化に対応していくことが大事であると述べられました。